

今年も夏水通水が始まりました

群馬用水管理所

今年は5月とは思えないような暑さが続いたり、反面急に気温が下がる日が続いたりと極端な気温の日が続いておりますが、夏は確実に始まろうとしています。

群馬用水では、5月中旬から農業に使用する水が増えてくることから、毎年5月16日及び6月1日の2回に分けて段階的に水路に流す水を増量する作業（夏水通水）を行っております。

利根川から水を多く取れるのは6月から9月下旬までの期間となりますが、水量が一気に増える5月16日及び6月1日については、チェックゲートの操作、施設点検を行う必要があります。また、水が増量になることから、水路に溜まった土砂から生えている水草が巻き上げられ、通水を阻害する要因にもなり得ます。この2日は、農家の方がほ場へ水を入れる時間を考慮し、早朝より職員総出で水路内での作業を行っております。

当日は朝4時半から作業を開始し、順調にチェックゲートの操作、施設点検、水草等の除去を行い、無事に下流まで水を届けることで夏水をスタートすることが出来ました。

群馬用水管理所ではこれかも適切な施設の操作、点検等を行い、農業用水と水道用水を安定してお届けできるように努めて参ります。



水草等の除去を行いました



増量後のチェックゲート地点の状況です